

きそ ネット

第10号

みどりの交流・創造フィールド

発行 平成14年7月15日 長野県 木曾広域連合

特集 広域連合とは？

中高生を主体とした第10回海外派遣事業が良好な景観形成、農業体験、平和学習、福祉・環境学習、歴史学習等をテーマとして平成14年4月20日(土)～28日(日)の9日間行われました。

ドイツ・オーストリア・デンマークの各視察のほか、今回は交流体験として、視察先農家に民泊するファームステイを実施しました。



Japanese Schüler zu Besuch

Schüler aus Matsumoto werden am Freitag, 25. April, in fünf Klassenräumen an der Schule nach, Bürgermeister Franz Lindner wird sie über die Entwicklung der Gemeinde informieren. Auf dem Programm stehen unter anderem Besuche im Altlandmuseum Hohenberg, im Bauernhof M. Dörsch, eine Führung durch die Gegend und mehr.

現地の新聞で紹介されました

4月23日・24日の2日間来訪したドイツセルナツハ村の現地新聞に派遣団の来訪を記載した記事が載りました。



? 連合って何?
 広域連合は、木曾郡内で12番目の役場といわれています。町村の役場では、国の法律によって、必ずしなければいけない仕事が決まられています。決められている仕事は、どんなにお金がかかろうとも役場で行わなければいけません。しかし、木曾のように小さな町村では、単独で事業をするのが経費がかかりすぎてしまい、町村が共同して行ったほうがいい仕事があります。町村でお互いにお金を出し合い、共同して役場の仕事を行っているのが広域連合です。

広域連合って何をしてるんですか？と聞かれることが多くあります。少しでも、私たちの仕事を理解していただくために、今回は、連合の事業と施設を紹介させていただきます。



? 予算はいくら?

広域連合の平成14年度の当初予算は32億円弱です。ちなみに木曾郡内の町村で今年度、予算の一番大きな町村は、小学校建設を抱える大桑村で約39億円、11町村の平均は27億円です。連合の予算額を木曾郡の人口で割ると、住民1人あたりの負担額は、約8万円となります。(当初予算は一般会計のみです。また木曾郡の人口は4万2千人としました。)

? 職員は何人いるの?

平成14年7月8日現在

職場名	職員数
広域消防	61名
老人ホーム木曾寮	34名
環境センター	25名
北部クリーンセンター	16名
南部クリーンセンター	3名
文化公園	4名
広域連合事務局	29名(5名)
合計	172名(5名)

職員数の後ろに記載の()の数は、町村役場、民間企業からの派遣職員の数です。職員数には、派遣職員の数も含めて記載してあります。

連合施設一覧



連合事務局は、左の表のように、4課3室1局から構成されています。

総務課	企画振興課	課
住民福祉課	環境衛生課	課
情報景観室	視察策室	室
廃棄物対策室	会計室	室
議会事務局		局

事業の中から、主な仕事のみ紹介していきます。

企画振興課

木曾川上下流交流の促進、スポーツ振興基金の管理等を行っています。

木曾では、木曾川を縁にして愛知中部水道企業団との交流を続けてきました。平成12年には、「交流のきずな調印」を行い、以後、市町村長を始めとした職員の交流が以前にも増して行われています。将来的には、木曾の森林を共通の財産として管理、運営するための方策を研究中です。

情報景観室

郡内に敷設されている光ファイバーの管理、運用と、木曾の風景にマッチした公共サイン（公共看板）の設置、管理を行っています。

木曾では、全国に先駆けて郡内公共施設間の光ファイバーを敷設しました。しかし、先端技術の有効な活用方法は、国にあってもまだ研究途上です。情報景観室では、木曾にあつた有効な活用方法を計画立案しています。

また、公共看板の統一化は



日義村に設置の公共サイン（看板）

一段落し、今後の課題は、民間の商業看板となっています。木曾の景観にマッチした統一看板のデザイン等の模索を行うと共に、当初の目的である景観をよくするということから、不用看板の撤去も模索中です。

広域連合事務局

〒399-6101 日義村4898-37
TEL0264-23-1050 FAX23-1052

住民福祉課

介護保険の要介護認定審査、介護保険の郡一本化の準備事務及び郡内の福祉全般について調査研究する「福祉医療懇話会」の運営を行っています。介護保険では、お年寄りの状態に応じて「要介護度」を決定します。介護度は非常に重要で、サービスを受ける時に支払う金額等が変わってきます。「要介護度」を決定するため認定審査会を、週2回開催しています。

また、来年度から実施予定の介護保険の郡一本化に向けて、今年の4月から職員2名を増員し、「郡内の住民が同じ負担で、同じサービスが受けられる体制の整備」に向けて事業計画の策定、保険料の決定等の準備事務を行っています。

環境衛生課

下水道の普及に伴い、汚泥の処理施設が必要となります。環境衛生課では、平成15年の供用開始に向けて、現在、上松町に汚泥集約センターの建設を行っています。



汚泥集約センター完成予想図

廃棄物対策室

ごみ焼却施設の統合炉の研究とリサイクルの普及促進を図るための事務を行っています。

現在、木曾には大桑村と木曾福島町の2箇所焼却炉があります。耐用年数等を考えると、平成22年には、統合炉を建設、運営しないといけない状況の中で、建設に向けて研究が行われています。



リサイクルストックヤード（木曾福島町）



北部クリーンセンター

〒397-0001 木曾福島町7720
TEL0264-24-3131 FAX24-3132

北部クリーンセンターは、木曾福島町以北の7町村で、お金を出し合って運営しています。可燃ゴミ、不燃ゴミの処理、粗大ゴミの処理とリサイクル品のストックをしています。

私たちは、60円で購入した「可燃ごみ指定袋」にゴミを入れ、指定された曜日にステーションに出します。このゴミを運んで、燃やして、灰を業者に運んでもらって、すべてを処分するのに、ゴミ10kgで600円の経費がかかります。仮に、週に2回、10kgずつのゴミを出したとしたらおよそ1200円の経費がかかります。皆さんが負担する120円以外の経費は、皆さんが住んでいる町村で負担をしています。

ゴミの処分費
10kgで600円



正面から見た施設



制御室

1人で出すゴミ
年間平均、431kg

平成12年度に北部管内では1週間で1人の人が8kgのゴミを出した事になっていました。1ヶ月で36kgです。もし月に1kg、年間12kgのゴミを皆さんが減量したとすると、全体で280tの減量になります。月に1kgとは、週に250gの減量です。どのようにしたら減量できるのでしょうか。

現在、日曜日だけではなく、木曾福島町の国道19号線沿にある「リサイクルストックヤード」で北部7町村の住民を対象としたリサイクル品の受け入れを行っています。

まだ、一日30件位の持込しかありませんが、空びん、ペットボトル、新聞紙、雑誌、段ボール、トレイを無料で受け入れていきます。

今までゴミ袋の中に入れていた雑誌、新聞紙、段ボール等も、貴重な資源です。ちょっと面倒ですが、まとめて町村のリサイクル回収カストックヤードへの持込をお願いします。

連絡先
リサイクルストックヤード
TEL026412412299



ゴミピット内のゴミ攪拌操作

リサイクル豆知識2

資源を長持ちさせるため、国は資源の再利用で無駄使いを減らす循環型社会を作ろうとしています。それがリサイクルです。使った物をもう一度使えるようにすれば、資源が減ることはないわけです。皆さんのリサイクルへのご協力をよろしくお願いします。

リサイクル豆知識1

金属やガラス、プラスチック製品を作る石油は土の中から掘り出しています。紙製品は木から作られています。金属や石油は、無限にあるわけではありませんし、木もすぐに成長するものではありません。

資源が終わってしまったら、あとはもう何も作れません。そして、そういう時代は、もうすぐに来ます。



南部クリーンセンター

〒399-5501 大桑村大字殿727-132
TEL・FAX 0264-55-3194

南部クリーンセンターは、上松町、南木曾町、大桑村の3町村で運営している、可燃ゴミの焼却施設です

ゴミの量の事

平成13年度に南部クリーンセンターに集められた燃えるゴミの量は4千トン余りでした。

ごみというのは、ほとんどみなさんが買ってきて不要になったものです。包装容器や、壊れたもの、食べ残し、これも、みなさんがお店でお金を払って買ってきているのです。これが1kgで100円くらいだと考えると、みなさんは一年間に4億円のお金をごみのために使ったことになりま



センター全景

ゴミの持込みができます

南部クリーンセンターでは、6月からゴミの持込みができるようになりました。

持込み料は、現在10kgあたり50円ですが、事業者の方は9月から70円に改正させていただきます。ご了承ください。

持込みで出せるゴミは一般廃棄物で分別収集品以外の燃えるゴミだけです。布団やカーペット等の長いものは50cm以下に切って出して下さい。ゴミの指定袋に入る位にする

と覚えておいて頂けるといいと思います。

持ち込みの際には、細かいお金の用意をお願いします。



バグフィルターを含む排ガス高度処理施設
(平成12年完成)

ダイオキシン豆知識2

環境を守るため、人を守るために、国では焼却炉からのダイオキシンの発生量に規制を設けました。北部クリーンセンターでは5ナノグラム(10億分の5g)以内が許容範囲です。

現在、連合の焼却炉では、ゴミを800度以上で焼却しています。その後発生した煙もバグフィルターという浄化装置を通り排出され、基準値以内で運転をしています。

1998年の調査で、私たちは一日に体重1kg当たり2.1ピコグラム(1兆分の2.1g)のダイオキシンを摂取しています。

今後、排出量を増やさないために、各種施設の整備に努めています。

ダイオキシン豆知識1

ダイオキシンとは、1種類の物質をいうわけではありません。有機塩素化合物のPCDD、PCDF、コプラナーPCB等をまとめてダイオキシン類といい、化学構造の違いによって200種類以上あります。

ダイオキシンは、塩素を含む物質が燃えると発生します。ただ、あらゆる物質に塩素が存在するので、ゴミを燃やすと発生してしまいます。不完全燃焼で特に発生しやすく、800度以上で発生が少なくなります。

一度できると分解されにくく、環境中に長くとどまるため、家畜、魚類の体内で蓄積されます。人はダイオキシンの9割以上を食べ物から取り入れています。



木曾広域消防本部

〒397-0001 木曾福島町3737
TEL0264-24-3119 FAX24-2929

平成13年度災害状況

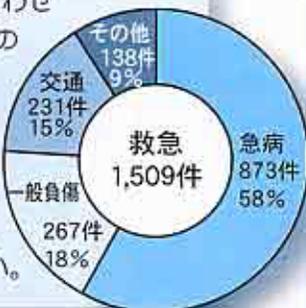
◆ 救 急 ◆

救急件数は年々増加しており、搬送された人の割合は、高齢者の方が最も多く、全体の約45%を占めています。

救急車を要請してから到着するまでの時間は、全国平均で約6分ですが、木曾郡では倍の約13分もかかってしまいます。

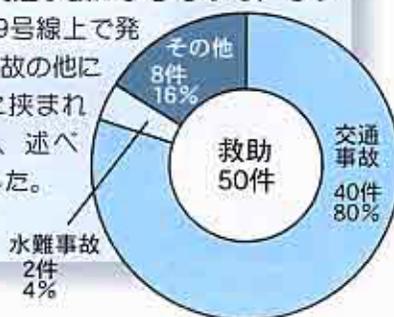
いつどこで、命に関わる人に居合わせることが分かりません。その時、その人の命を救うことができるのは、その場にいるあなたかもしれません。

是非、救急講習を受講されることをお勧めします。救急講習の開催や、問い合わせは最寄りの消防署、分署までお気軽にお問い合わせ下さい。



◆ 救 助 ◆

救助出動の8割は交通事故によるもので、その内のほとんどが国道19号線上で発生しています。交通事故の他には、水の事故や機械に挟まれた等の事故に出動し、述べ28人の方を救出しました。



はじめに

木曾広域消防本部は平成3年4月に発足し、消防車4台、指揮車3台、救急車5台、救助工作車1台、職員数61名、24時間体制で防災の任にあたっています。

広域消防では、火災救急・救助等の災害に出動する他に、火災予防業務や危険物安全対策、事業所や学校等へ出向しての救急や防災訓練の指導、普及活動を行い、郡民の皆さんが安心して住める街づくりに全力を尽くしています。

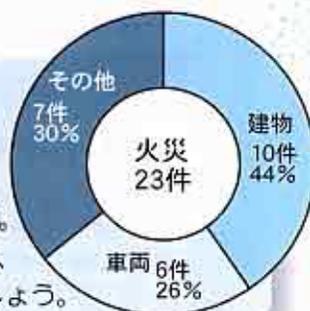
施設ごとの職員数

施設名	人数
木曾広域消防本部	7名
木曾消防署本署	32名
〃 北分署	11名
〃 南分署	11名
〃 三岳分遣所	本署併任

木曾消防署本署 TEL0264-22-0119
FAX0264-22-2929
木曾消防署北分署 TEL0264-36-3119
FAX0264-36-2929
木曾消防署南分署 TEL0264-57-3119
FAX0264-57-2929

◆ 火 災 ◆

火災になった原因の多くは、たき火や野焼きの不始末からの火災が目立ちます。空気の乾燥している季節は、特に火の取扱いに注意しましょう。



左から、消防タンク車、高規格救急車、救助工作車

◆ 消防署からのお願い ◆

火災予防査察の実施について

消防署では事業所（一般家庭以外）を対象とした、火災予防査察を行っています。

この火災予防査察とは、一般家庭で言う「火の元点検」のようなもので、事業所の建物に対して、どんな消防用設備が必要か？防火管理の状況はどうか？灯油タンクの管理はどうか？等、火災を未然に防ぐためにお願いしています。

また、消防署では消火器等の販売や点検、点検等は行っておりません。消防署を装った訪問者には注意して下さい。





老人ホーム 木曾寮

〒399-5608 上松町荻原2404-1
TEL0264-52-2054 FAX52-2934

はじめに

老人ホーム木曾寮は、寢覚の床からも程近い、上松町小野地区にある老人福祉施設です。

特別養護老人ホームと、養護老人ホームが併設されていて、現在、特養には37名、養護は78名、合計115名のお年寄りが入居されています。

養護の目的は入居されている方個人の状態に応じ安定した日常生活を営めるように支援することであり、入居されているお年寄りに日々生活の張り合いや楽しみをもっといただく為に、様々な行事やクラブ活動を計画し、行っています。

楽しいひと時



ラオケや出し物をしたり、とてもぎやかです。

はい、チーズ!

毎月開催の「お誕生会」は、お年寄り職員全員で昼食をとりながら、誕生日を迎えたい入居者の方をお祝いします。カラオケや出し物



ゲートボールの腕前は?

園芸や手芸等クラブの活動も盛んで、木曾寮の内外も色とりどりのお花や手作りの作品でいっぱいです。また、今の時期は、毎夏行われるゲート



中学生ボランティアとの交流

またシーツ交換等のボランティアさんや郡内の中学校の生徒さんが交流のために訪れて、入居者のお年寄りと一緒に楽しいひとときを過ごされています。



木曾寮玄関の花壇を手入れ

普段の移動は車椅子の方でも、「足腰が弱ってしまうので歩きたい」と、自らの希望で健康チェックの後、平行棒を使って歩いてリハビリを行っている方もいます。聞けば、施設の中でリハビリにより歩けるようになった人を見て、自分もやってみたいと思われたそうです。

頑張っています

ボール中信地区大会にむけ、足腰の元気なお年寄りが夕食後、練習をされています。ゲートボールを打つ音が事務所まで聞こえてくると、夏を告げる木曾寮の風物詩のようでもあります。

訪問お待ちしております

入居者の皆さんは、それぞれ張り合いをもって生き生きと生活されています。そんなお年寄りの方達と話していると、こちらも元気が出てきます。そんなお年寄りにぜひ会いにお越しください。話相手、茶飲み仲間、ボランティア募集中です!



特養老、ホールでのひととき

最後に介護保険制度施行から約2年がたった中、介護状況も日々変わっています。施設へのお気づきの点、要望、苦情等ありましたら気軽に言ってください。木曾広域連合老人福祉施設として、郡民の皆様へ愛される施設を目指して頑張っています。



何をしているの

調査室では、埋蔵文化財、いわゆる「遺跡」の発掘調査と発掘調査を始めるまでの協議や調整などを、各町村及び町村の教育委員会から委託を受けて行っています。



遺跡から出土した縄文土器

埋蔵文化財って何

埋蔵文化財あるいは遺跡という、平成12年秋に発覚した旧石器時代の遺跡ねつそう事件をご記憶の方も多いのではないのでしょうか。あの事件は、遺跡が神ならぬ人の手で、作られてしまった例ですが、本来、遺跡とは「過去の人々が遺した生活・文化の痕跡」であり、現代に生きる私たちにとっては祖先から受け継が



木曾福島町、板敷野遺跡

れた貴重な文化遺産でもあります。

遺跡には、人々が暮らしていた集落跡や古墳、城跡など時代や地域によってさまざまなものがあります。それらの多くは、地下に埋もれていることが一般的であることから、埋蔵文化財と総称され、文化財保護法による行政上の保護・保存対象とされています。

遺跡の保存は

こうした埋蔵文化財が埋もれている遺跡は、全国に29万ヶ所以上あり、私たちが住んでいる木曾谷にも500ヶ所を越える遺跡の存在が知られています。

埋蔵文化財調査室

〒399-5601 上松町上松ヒケ畑2048
TEL0264-52-5303 FAX52-5303

貴重な文化財が工事などで失われてしまう前に、それかどのような遺跡であったのかどこに・どのようなものが埋まっていたのかなど、図や写真、文章として残し後世に伝える調査が「記録保存調査」です。もちろん、遺跡が壊されずにそのまま残った方が良いので、工事の前に保護と保存の仕方について充分に話し合うことも大切なことです。



復元された縄文土器
(約4000年前)



木曾福島町、板敷野遺跡

遺跡の発掘は

さて、遺跡を発掘するといろいろな「モノ」が出てきます。土器のかけらや矢じり・石斧といった石器、木製の道具や骨・木の実など、そして、堅穴住居跡やお墓の跡、イノシシなどを捕った落とし穴やドングリを貯えた貯蔵穴、果てはゴミ穴などまであり、すべて過去の人々の暮らしを伝える上で大切な資料になります。これらの出土物は、発掘調査が終了したのちに整理・分類され、その結果は詳しい説明文とともに『〇〇遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書』として公表されます。



出土品の復元作業





環境センター

〒399-5601 上松町上松ヒケ畑2048
TEL0264-52-2530 FAX52-5130

環境センターでは、し尿、浄化槽汚泥の収集と処理を行っています。微生物を使って、下の図にあるような処理を行い、最終的にはきれいな水にして自然に帰しています。

また、処理の途上で出る脱水汚泥は、搬出された後に有機肥料として活用されています。

※トイレにはペーパー以外は入れないようにお願いします。

前処理

- ・し尿中の石・砂やゴミを取りのぞく

1次処理

- ・し尿を微生物のなかまたちが食べる
- ・食べ終わった液体を水と汚泥に分ける

2次処理

- ・水の中の小さなゴミを取る

下水道の普及に伴い、処理量は平成10年以降、減少しています。13年度では、1日平均、約8万リットルを処理しました。



中央制御室

消毒

- ・きれいな水を川へ放流

高度処理

- ・水の色を取る
- ・砂ろ過
- ・活性炭吸着

葬斎センター 緑聖苑

環境センターから50mほど上に位置します。厳粛な雰囲気の中にも、ご遺族の皆様にならぎと、心の和む環境づくりに努めております。



今年の状況は

現在は、事前の記録保存調査を主体としながら、年間3〜5遺跡・総面積2万mほどの埋蔵文化財調査に対応しています。

今年度は、木曾福島町と三岳村の遺跡を発掘調査中であり、木曾福島町の板敷野遺跡からはすでに縄文時代の集落跡（約4千年前）などが見つかり、大きな成果をあげつつあります。埋蔵文化財の発掘調査においては、埋蔵物の保護・保存という観点とともに、調査に要する期間や予算をめぐって、開発事業との整合性を図らねばならないことも行政上の今日的な課題として重要な点です。より良い調査をより効率的に行えるよう、公共及び民間専門機関の有効活用を含めた体制作りも進めています。





木曽文化公園

文化ホール・教育文化センター
〒399-6101 日義村4898-37
TEL(0264)23-8011 FAX(0264)23-8018
E-mail : bunka@kisoji.gr.jp

観る

文化ホールでは毎年、一流のアーティストの方々をお招きして、公演を行っています。テレビや映画では決して味わうことの出来ない感動が、舞台芸術にはあります。目の前で繰り広げられる、迫力ある舞台を体験下さい。



◆演劇・ミュージカル◆

セットが生まれ、照明が入ると別世界が現れます。そこは、森の中であったり、夕暮れの街角であったり。あんなに長いセリフがよく覚えらるるなあと思っているうちに、物語に引き込まれてしまいます。

「とってもゴースト」 6月12日
(終了しました)
「若草物語」 8月4日

◆舞踏・レビューショー◆

華やかに繰り広げられる、歌と踊り。現実を忘れてしばし夢の世界に。

「アンダルシア～情熱の瞬間～」 7月17日
「ロシア・グランド・レビュー」 11月8日

◆ポピュラーミュージックコンサート◆

年に1回ポピュラー系のコンサートをやっています。毎回人気がありチケット発売日には、テントを持ち込んで前日から並ばれる方もいらっしゃるほど。

「谷村新司コンサート」 6月27日 (終了しました)



◆オーケストラ・室内楽◆

弦楽器・管楽器のアンサンブルは、心地のいい安らぎを。フル編成のオーケストラは迫力満点。

「第28回木曽音楽祭」 8月22日～25日
弦楽四重奏曲「ザ・ビートルズ」 9月11日
東京ニューフィルハーモニック管弦楽団
「スター・ウォーズ交響曲」 11月8日
「タチナ・シェパノワ
ピアノリサイタル」 11月26日



表現する

文化ホールは、鑑賞の場としてだけではなく、表現する場所でもあります。文化公園が主催する参加型の事業や、様々な団体・サークルがここで、日頃の練習の成果を発表しています。檜舞台上に上がり眩いスポットを浴びる経験をしてみませんか？

木曽バンド祭2002 9月8日

高校生バンドからママさんバンド、まであらゆるジャンルのバンドが一同に。客席はAllStanding!!



木曽演劇フェスタ2002

11月17日

実力派の劇団「ひのき」に高校演劇部に人形劇。仲間を募ってお芝居をやってみませんか？

木曽太鼓フェスティバル2002

11月24日

毎回呼び寄せるゲストの演奏に刺激され、レベルアップが著しい各団体。太鼓の音でホールが揺れます。



羽ばたけ未来へ子どもたち2003 2月2日

毎回300人以上の子どもたちが、表現する楽しさと感動を味わっています。合唱、合奏、オペレッタ。舞台上で発表できるものならなんでもOKです。学校のクラス単位や、地域でのサークルで参加下さい。



町村合併

第3回合併討議会を開催

平成14年5月16日(木)、南木曾町の南木曾会館にて、南木曾町村会主催による第3回南木曾郡合併討議会が開催されました。

今回は講演会を中心に開催し120人の参加者がありました。講師に合併の先進地である兵庫県篠山市(ささやまし)公営企業部長 上田多紀夫氏をお招きし、「市町村合併とまちづくり」という演題のもと講演いただきました。



兵庫県篠山市は平成11年に篠山町・西紀町・丹南町・今田町という四町が対等合併をして市となった地域で、合併をしていく上での経過や苦労、また合併してからのまちづくりについてご講演いただきました。

お知らせ

本年4月より、連合事務局内に町村合併合同事務局が設置されておりましたが、7月10日を持って解散となりました。ホームページは当面残りまでするので、掲示板への書き込み等でご利用ください。

合併は相互互譲

「合併というのは相互互譲の精神でなければ進まない、わが村、わが町がと言っている合併は進まない」

「合併というのはただ単に大きくすることではない。合併によりデメリットである「周辺部の開発」を意図的に行政施策として実施することができる。一体的な街づくりのための思い切った道路建設等も一つの自治体であったほうができる可能性が非常に高い。また弱者と言われる方についても、大きくなればなるほど専門職員の採用や、強化により福祉対策が充実していく。」

合併は街づくりのスタート

「メリット・デメリットは本当にあるのか。私は合併にメリット・デメリットはないと申し上げています。なぜ合併にメリット・デメリットがないのか。」

合併というのは手法であって、合併によって街づくりをスタートさせるものである。デメリットと言われるものをメリットに変えていくのが町村合併だと思えます。」



兵庫県篠山市庁舎

合併は特効薬

ではありません

「合併して住民の約50%の方が合併に関しては、何を聞いても「わからない」ということでした。残り20から30%の住民が合併してよかったです。残りの住民は、反対であるということでした。」

なぜわからないのか。これは合併成功であったと私は思っております。合併というのは特効薬ではありません。合併して失敗だった、成功だったというのは10年から20年ばかりかかると、今は「わからない」と言うのが正解だと私は思います。

ただ住民の皆さんに迷惑をかけることは、いけない。迷惑をかけたら合併は失敗です。篠山では窓口業務とか、住民サービスの質は低下していないというのがほとんどの意見でございます。今は合併のために街づくりをしている。これが今の篠山市住民の率直な意見だと思っております。



北部クリーンセンターより料金改定のお知らせ

9月1日からゴミの持込み料金が変わります。

	ゴミの種類	改定後	改定前	備考
一般家庭	粗大ゴミ(可燃・不燃)	50Kgまで無料	200Kgまで無料	超過10kg につき 120円
	一般ゴミ(可燃・不燃)			超過10kg につき 40円
事業者	粗大ゴミ(可燃・不燃)	10kg 210円	10kg 120円	
	一般ゴミ(可燃・不燃)	10kg 70円	10kg 40円	

※ 事業者とは、事業を営む方、営業者（個人で店舗等を営む方）をいいます。



議会風景

第2回臨時議会を開催

6月26日(水)午前10時より木曾文化公園の第2会議室で臨時議会が開催され、「消防救助工作車の契約締結」を議決し、議了しました。また閉会後に全員協議会を開催し、「介護保険事業計画の仕組み」「住民基本台帳情報ネットワーク」「町村合併」について協議しました。

連合議会とは

町村議会から選出された30名の議員から構成され、年4回の定例会を主に、必要に応じて臨時会、委員会を開催しています。

広域連合消防職員採用試験のお知らせ

- 1 採用予定人員 消防吏員 若干名
- 2 勤務地 木曾広域消防本部、木曾消防署、北分署または南分署
- 3 受験資格(年齢) 昭和52年4月2日から昭和60年4月1日に生まれた方
(学歴) 高等学校卒業(見込みを含む)もしくは同程度以上の学力を有していること

4 試験区分

初 級

5 試験内容

- 一次試験 平成14年9月22日(日)午前9時から
日義村、木曾文化公園にて
一般教養試験、消防適性検査A、体力検査
- 二次試験 小論文、面接
- 三次試験 面接



6 願書受付

平成14年7月16日から8月15日に、広域連合総務課まで提出。

7 その他

詳細な募集要項及び受験申込書は、広域連合事務局、各町村役場、広域消防本部、木曾消防署、北分署及び南分署に用意してあります。

本誌に関するご意見・ご感想をお気軽にお寄せください。次号の参考にさせていただきます。

〒399-6101 長野県木曾郡日義村4898-37

TEL 0264-23-1050 FAX 0264-23-1052 E-mail soumu@kisoji.gr.jp

ホームページ <http://www.kisoji.com/kisokoiki/index.html>